

県内大学生等の就職意識等調査の抜粋

<光高・光丘高・聖光高ポイント>

- ◎ 9割を超える生徒が、今住んでいるまちに好意的（市外の生徒も含む）
（※今住んでいる市や町が「好き+まあまあ好き」）
- ◎ 将来の山口県への居留意向は、71.2%
（※ぜひ住みたい+まあまあ住みたい+将来は戻ってきて住みたい）
- ◎ 高校卒業後県外に行きたい理由は、「**県内の大学に、希望する学部・学科がないから（35.3%）**」が多い。
- ◎ 県内の進学・就職を希望する割合は、48.3%
- ◎ 就職先には、**安定性、将来性、やりがい**を特に重視
- ◎ 進学先には、**学びたい学科、就職率資格等の取得、雰囲気（イメージ）**を重視

【県全体との比較】

○問1 あなたの性別をお聞きします。

県全体よりも男性比率が高い。（男性64%、女性36%）※県全体ではほぼ半々

○問2 あなたは、今住んでいる市や町についてどのようなイメージを持っていますか。

「好き」と答えた生徒の割合が県全体よりも約10%高く、「まあまあ好き」と合わせると9割を超える生徒が好意的なイメージを持っている。

○問3-1 あなたは、将来も山口県の市や町に住みたいと思いますか。

「ぜひ住みたい」又は「できれば住みたい」と答えた生徒の割合が約54%であり、県全体よりも約17%高い。男女を比較すると男性の在住志向がより強い。

○問4-1 あなたが、就職又は進学を希望する地域はどこですか。

県全体と比較して「山口県内」と答えた生徒の割合が約10%高い。男女別に見ると、男性は県全体と比較して20%程度高いが、女性は県全体よりも若干低く、「近畿地方」や「広島県広島市」と答えた生徒の割合が県全体よりもそれぞれ約5%高くなっている。

○問4-2 問4-1の地域を選んだ理由は何ですか。

男性は県全体と比較して「地元だから」と答えた生徒の割合が約10%高い。

○問5-1 就職先を決める際に、それぞれの項目について、あなたが重視する度合いをお聞きします。

県全体と比較して、多くの項目について「とても重視する」「少し重視する」と答えた生徒の割合が高く、特に「規模が大きい、知名度がある」、「安定している」、「将来性がある」、「給料が高い」、「自分の夢が実現できる」の項目については、県全体よりも10%以上高くなっている。男女別で見ても同じような傾向が見られる。

<徳山大学・徳山高専ポイント>

- ◎ **78.4%**を超える生徒が、今住んでいるまちに好意的
(※今住んでいる市や町が「好き+まあまあ好き」)
- ◎ 将来の山口県への居留意向は、**52.4%**
(※ぜひ住みたい+まあまあ住みたい+将来は戻ってきて住みたい)
- ◎ 非居留意向は**32.2%**
(※住みたくない+あまり住みたくない)
- ◎ 卒業後県外に行きたい理由は、「希望する就職先がないから」「街に活気がない、魅力のある施設・場所が少ないから(32.0%)」が多い。
- ◎ 県内の進学・就職を希望する割合は、**26.0%**
- ◎ 就職を希望する地域を選ぶ理由は「地元だから(住み慣れているから)」
- ◎ 就職先には、**安定性、やりがい、将来性**を特に重視。高校生とは違い、人や地域のためといった視点が上位に。
- ◎ 大手企業に限らず、「やりがいのある仕事であれば、中堅・中小企業でもよい」と考える人が多い。
- ◎ 希望業種は、男性は、**製造業、建設業、公務**、女性は、**公務、医療・福祉、情報通信業**が多い。
- ◎ 希望職種は、**商品企画・開発・設計部門**が最も多い。

【県全体との比較】

○問1 あなたの性別をお聞きします。

県全体よりも男性比率が高い。(男性73%、女性27%) ※県全体ではほぼ半々

○問2 あなたが在籍している学部・学科の系統をお聞きします。

県全体と比較して「工学」と答えた学生の割合が高い。(約50%)

○問3 あなたの出身県(地方)をお聞きします。

県全体と比較して「山口県」と答えた学生の割合が高い。(約65%)

○問4 あなたは、今住んでいる市や町についてどのようなイメージを持っていますか。

「好き」と答えた生徒の割合が県全体よりも約5%高いが、「まあまあ好き」と合わせるとほぼ同割合(約80%)の学生が好意的なイメージを持っている。

○問5-1 あなたは、将来も山口県の市や町に住みたいと思いますか。

「将来は戻ってきて住みたい」と答えた学生の割合が県全体よりも約8%高く、「ぜひ住みたい」、「できれば住みたい」と合わせると約50%の学生が住みたいと考えている。

○問5-2 あなたが、山口県の市や町に住みたくないと思う理由を、次の中から選んでください。

県全体と比較して「希望する就職先がないから」と答えた学生の割合が約13%高い一方

で、「交通機関、買い物など、生活が不便だから」と答えた学生の割合は約 14%低くなっている。

○問 6-1 あなたが、就職又は進学を希望する地域はどこですか。

県全体と比較して「山口県内」と答えた学生の割合が 4%低く、「広島県広島市」、「四国地方」、「近畿地方」、「東京都」と答えた学生の割合は若干高くなっている。男女別に見ると、男性は県全体と比較して「山口県内」と答えた学生が 3%高いが、女性は県全体よりも約 15%低く、「広島県広島市」と答えた生徒の割合が県全体よりも約 10%高くなっている。

○問 6-2 問 6-1 の地域を選んだ理由は何ですか。

県全体と比較して「希望する大学院・企業がある地域だから」と答えた学生が約 8%高くなっている。男女別に見ても同様の傾向が見られる。

○問 7-1 就職先を決める際に、それぞれの項目について、あなたが重視する度合いをお聞きします。

「規模が大きい、知名度がある」、「将来性がある」、「給料が高い」の項目については、「とても重視する」と答えた学生の割合が県全体よりも 5%以上高くなっている。男性はこれに加えて「グローバルな仕事ができる」、「やりがいのある仕事ができる」の項目について「とても重視する」と答えた学生の割合が県全体と比較して高くなっている。

○問 7-2 あなたが就職を希望する企業の規模等についてお聞きします。

「できれば大手がよい」と答えた学生の割合が県全体よりも約 8%高くなっており、大手志向が強い傾向が見られる。

○問 7-3 あなたが就職を希望する企業等の業種についてお聞きします。

県全体と比較して、「製造業」と答えた学生の割合が県全体よりも約 7%高くなっている一方、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」の割合は低くなっている。

○問 7-4 あなたが就職を希望する職種についてお聞きします。

県全体と比較して、「商品企画・開発・設計部門」及び「製造技術・生産管理部門」と答えた学生の割合が県全体よりも約 8%高くなっている一方、「総務・経理・人事などの管理部門」の割合は約 5%低くなっている。